## 社会福祉法人 輔仁会は 創立50周年を迎えました

理事長/統括園長 大浦 純平

お陰様で、輔仁会は今年で創立五〇周年を迎えました。

昨年より、つぼみ保育園の歴代父母の会々長を中心に記念事業実行委員会が組織され来年一月十一日に記念式典を実施していただける運びとなっています。実に有り難いことです。

現在、当法人は、つぼみ保育園・さわらび保育園・新宮つぼみ保育園の三園と二つの分園を合わせ五施設を運営する法人へと成長してまいりました。これも一重に、今まで勤務して頂いた職員の皆様に支えられてきたこと、保護者の皆様の多大なご協力の賜と存じます。

この間、お預かりした園児の総数は約五七〇〇名、勤務頂いた職員数は現職も合わせ七〇二名です。

因みに、つぼみ保育園の第一回卒園児の年齢は五五歳になります。

設立の頃にさかのぼってみますと、福岡市は昭和三九年に社会福祉法人に用地を貸付て民間による保育園設置を市の保育施策とすることを決議しました。当時、博多区の保育園で主任保母をしていた母(大浦仁子)は市の説明会に参加し、自分でもできると確信したのでしょう、家に戻った母は興奮気味で「私、保育園を作るわよ」と目を輝かせていたのを覚えています。私はまだ高校一年生でした。

すぐに市と折衝を始め、社会福祉法人の設立準備と建築計画に取り組み、福岡市の助成金を受け、昭和四〇年四月に東区千早に「つぼみ保育園(定員一〇〇名)」を開園しました。木造平屋建ての園舎の建築代金は六二五万円、市の助成金は四五〇万円でしたから自己資金は一七五万円、当時の母にしてみれば大金だったはずです。

その後、昭和四五年四月には東区八田に「さわらび保育園(定員一〇〇名)」を開園し、同時に、つぼみを増築し定員を一五〇名にしました。

以後、両園は福岡市の要請を受けて増改築を実施し、その度に増員をしながら現在の定員は、つぼみが分園込みで二八〇名、さわらびが二五〇名となりました。

私ごとですが、昭和五二年に民間企業を辞し、保母養成校にて保母資格を取得した後、昭和五四年四月にさわらび保育園に就職、年長クラスの保父として現場を四年間体験し、昭和五八年にはつぼみ保育園の園長に就任しました。

平成一五年に母は輔仁会の会長となり、私が理事長を拝命し、法人の切り盛りを任されることになりました。

時を同じくして新宮町の保育園設置者の公募があり、応募した多くの事業者の中から指名を受け、平成一七年七月に「新宮つぼみ保育園(定員一二〇名)」を開園しました。

その後、平成二二年、私は三園の統括園長に就任し現在に至っています。

今年四月には新宮中央駅前に「分園(定員三〇名)」を開園し、今年度中には新宮つぼみ本園の増員を行い一五〇名定員となる予定です。

このように輔仁会は母から私へと受け継がれてきました。その母も一昨年八月に亡くなりました。そして、私も母の遺志を大切にしつつ、次世代に輔仁会を渡す準備をしなければならない年齢になってきました。

園便りの五月号にも書かせていただきましたが、平成二七年度(次年度)にはいよいよ、「子ども・子育て新制度」が導入されます。

この新制度の根底には、保育も介護同様、規制緩和を行い市場原理を導入すれば、多くの事業者(株式会社等)が参入し、競争が始まり、安い金額で質の高い保育をするだろうという安易な発想が流れています。

また、あろうことか新制度では保育園でも認定こども園に移行すれば「教育」が出来るようになるという間違った認識が喧伝(ケンデン)されています。

更に、消費税増税は社会保障充実と一体であると、新制度に一兆を超える財源を見込んできたはずなのに、ここに来てそれも揺らぎ始めています。

そんな状況にも拘わらず、新制度の目玉ともいうべき「認定こども園」に移行するかどうかの調査が既に始まりました。

勿論、輔仁会は児童福祉施設としての保育園を運営することを基本に据えてまいります。

今まで、保育園の行う「教育」と「養護」について常に研鑽を繰り返し、積み重ね、吟味をしながらよりよい保育を行うことを心がけ、時の流行に左右されることなく、「早期教育」という甘い言葉には背を向けてまいりました。身の丈以上の知識の押し込みや訓練を教育と称して行う必要性は全くないのです。

子ども達は連綿とした日々の営みにより育っています。十分に遊び込むことが出来る物的環境があること、子どもたちと保育者、保護者と保育者の間にしっかりとした信頼関係をもてる人的環境があることの二つが大切であり、そこに力を傾注することが「保育の王道」と確信しています。

母が創業した保育事業をこれからも、法人役員の皆様をはじめ、職員及び関係者各位のご協力をいただきながら継承発展させてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。


つぼみ保育園年報 第17号

2014年(平成26年)8月 発行

発行/編集



社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園
〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780
[E-mail] tsubomi@nifty.com
[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/


## 五十年の歴史が織りなす「つぼみ」の輪

つぼみ保育園は今年度50年目を迎えました。23年度に歴代の父母の会の会長様が実行委員会を立ち上げ、祝賀会等に向け話し合いが行われています。昨年度から始まった卒園児保護者、旧職員の皆様からの寄付や卒園児の名簿整備等にもたくさんの方々にご賛同を賜り深く感謝申し上げます。

50年の歴史のなかで子どもたちは保育園を生活の場として毎日同じ様に繰り返される日課の中で安心して過ごせる居場所があり、自分のことをしっかり受け止めてくれる保育士とお友だちの中で自己を十分に発揮し、多様な遊びと体験を通して人間力が育まれ、つぼみを巣立っていきました。この50年間で今も昔も変わらない風景の一つとしてお昼時になると給食室からおいしい匂いが漂い、今日のご飯はなんですかと給食室に聞きにくる子どもの姿があります。

記念事業の一環として様々な取り組のひとつとして記念Tシャツの作成・販売をしていただいております。また、千早西校区夏祭りでは50周年実行委員会として出店され、私たち職員も参加いたしました。

この千早西校区の地域の皆様の温かいご支援があってこそ50年の歴史を刻むことができたと感謝の思いで、給食室で作ったババロアを販売しました。卒園生も買いにきてくれ懐かしい味を思い出してくれているかのように感じました。

また、保育士は自分の背丈より高くなった卒園生たちに目を輝かせ、保育園時代は手いっぱいだったババロアの容器が小さく見え、お喋りに花が咲きました。幼い頃の経験が心の引き出しにいっぱい納められ、「元気のもと」「勇気のもと」になっていることを確信し、成長している姿に再会でき楽しいひとときを過ごしました。

来年の1月11日(日)は祝賀会が開催されます。幼かったつぼみっこたちが社会でいろいろな花を咲かせていることでしょう。その様子を聞いたり見たりすることは私たち職員にとって最高の喜びであります。

保護者、卒園児、旧職員の皆様たくさんの方々にお越しいただき昔を懐かしみ、今を語り合い50年をお祝いしてただけたら幸いです。お待ちしております。

51年目となる27年度から「子ども・子育て新制度」が導入されます。つぼみも新たな出発の年とし、保育の人的環境と物的環境をより充実させ、保育の質を高めていきたいと思います。

園長 大久保雅子

## つぼみ保育園創立５０周年の基盤『きょういく』

平成26年度 父母の会 会長 喜多 正貴

昨年度に引き続き父母の会会長をさせていただくことになりました喜多正貴と申します。

昨年度も述べましたが，『きょういく』と聞いてどんなイメージを抱かれるでしょうか？

教育や強育，叫育，凶育，怯育，狂育，恐育，今日育，協育，興育，競育，彊育，驚育，響育･･･。漢字って不思議なものですね。その一文字一文字で言葉のイメージがはっきりと湧きます。私は目指すべき『きょういく』は『共育』でありたいと思っております。

さて，話は変わりますが，本園はいよいよ今年度創立５０周年を迎えます。この５０年間に携わられた多くの先生方によって，いくつもの洗練された保育課程をもとに，子どもたちと『共育』してくださっていることに深く感謝しております。またこの５０年間の礎を築かれた父母の会の諸先輩方には日々尊敬の念を抱いております。

５０年間の歴史の重さをひしひしと感じながら，最高の先生方と最高の役員メンバーと共に，最高の子どもたちやパパさんママさんと共に，今年度のスローガン“子どもあっての 家庭あっての 仕事あっての 父母の会 ～ やれるときに，やれる人が，やれることをやろう(^O^)/ ～”を合い言葉に，『共育』魂で父母の会を盛り上げてまいりたいと思います。

また，５０周年記念講演会では私の本園同窓生であります上田泰己くんを講師に迎えます。

彼は，東京大学大学院医学系研究科の教授で，独立行政法人理化学研究所生命システム研究センターのグループディレクターであり，日本におけるシステムバイオロジー分野のエースであります。（同窓生と呼ぶには畏れ多いですが･･･。実は，誕生日も一緒なんです（笑））

最後になりますが，この年報を通して，また５０周年記念式典・記念講演会で皆さまと出会えることを通して，この５０年分の「つぼみ」という絆を深め合うことのできる喜びを感じ，「前途有望である子どもたち」の意味を表す「蕾（つぼみ）」の５０周年記念事業の大成功を祈念しつつ，年報の挨拶とかえさせていただきます。

## 平成二十六年度 行事

**つぼみ保育園**

4月 3日〜5日 新年度説明会
19日 親子歓迎遠足 おたのしみ会
24日 園児健康診断(2日間)
5月 8日 端午の節句おたのしみ会
17日 年少組親子保育 クラス懇談会
31日 年長組親子保育 クラス懇談会
6月 7日 影絵劇場(一般公開)
19日 おたのしみ会
24日 歯科健診
7月 4日 七夕まつりおたのしみ会
11日〜12日 お泊まり保育(青組)
18日 運動会
19日 保護者ボランティア活動
23日 プール開き
8月 28日 おたのしみ会
9月 11日 おたのしみ会
10月 2日 おたのしみ会
31日 敬老の集い 園児健康診断(2日間)
11月 6日 年長組遠足
15日 友愛セール
20日 おたのしみ会
29日 リトミック発表会
12月 4日 おたのしみ会
19日〜20日 作品展
25日 もちつき
1月 11日 輔仁会合同音楽祭 創立50周年記念式典
15日 おたのしみ会
31日 年少発表会
2月 3日 豆まき
5日 おたのしみ会
21日 年長発表会
3月 3日 桃の節句おたのしみ会
5日 遠足(年長)
12日 遠足(年少)
21日 卒園式
27日 入園式(新園児)

**第2つぼみ保育園**

4月 5日 新年度説明会
19日 親子歓迎遠足
5月 8日 端午の節句
6月 24日 歯科健診
7月 4日 七夕まつり
10月 25日 親子保育(本園にて) 園児健康診断
2月 3日 豆まき
3月 3日 桃の節句
7日 親子保育 園児健康診断

# 50周年記念事業を新たな歴史の始まりに

創立五十周年記念事業
実行委員長　**伊集院直親**

昨年の年報に書きました政治・経済の不透明感」が徐々にではありますが薄まり、社会が落ち着きを取り戻しつつあるように感じます。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、かねてよりご案内しております通り、今年度はつぼみ保育園が創立50周年の節目の年となります。この50周年を盛大に祝おうと実行委員会を結成し、少しずつではありますが着実に検討が進み、皆様の協力のもと様々な事項を決定して参りました。

決定事項の一部を以下の通りご報告いたします。

一、以下の要領で平成27年1月11日(日)に記念式典を開催する
記念講演を上田泰己氏※1に依頼する
※1 つぼみ保育園卒園生であり、現在は東京大学大学院医学系研究科教授を務める
・40周年記念式典同様会費制とし、会費は一人当たり六千円とする
参加者は20歳以上を対象とし、託児は受け付けない
二、周年記念事業の充実のため、寄付金の募集を再度行う
三、第2回50周年チャリティゴルフ大会を開催する
四、桜の植樹を園への記念品として贈呈する

課題はまだ残っておりますが、歴代父母の会会長様はじめ、関係各位にご相談しながら検討を進めて参ります。

また、大きな節目の50周年記念ですので、多くの方々が式典へご出席頂けるよう広報活動にも力を入れております。Facebookの立上げや、去る5月31日には父母の会総会にて50周年記念事業への取組みを説明、7月19日には園舎清掃のボランティア活動への参加、7月26日には千早西校区夏祭りへの出店を行い、現役世代や地域の皆様に広くご案内しているところであります。今後も10月に行われる運動会、11月に行われる友愛セールでも広報活動を行っていくことを考えております。皆様方のお知り合いに卒園児や保護者の方がいらっしゃいましたら、是非お声掛けをお願いできればと思います。

昨年よりお願いしております寄付金につきましては、多くのご協力を賜り深くお礼申し上げます。寄付金より園への記念品をお贈りすることを考えており、園庭から姿を消してしまった桜の木を植え、復活させようと実行委員一同盛り上がっております。この50周年記念事業から始まる新たな歴史、という意味では丁度良い贈り物になるのではないでしょうか。

ただ、寄付金につきましてはまだ目標額に届いておらず、大変心苦しいのですが、再度寄付のお願いを同封させて頂きます。趣旨にご賛同頂き、是非一層のご協力をお願いいたします。

また、大同窓会をコンセプトとした記念式典、祝宴を計画しておりますが、実行委員会で把握しております卒園者、保護者の名簿にも限りがございます。是非、ご同窓のお知り合いをお誘い合せの上、新たな歴史の始まりにお立会い頂けますようお願い申し上げます。

皆様には何かとお力添えをお願いする機会も多くなると思いますが、是非、ご指導、ご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

## 50周年記念事業実行委員会活動

### ■記念Tシャツの作成・販売

胸にスリーペアーズのシンボルマーク、背中には輔仁会が50周年を迎える旨とつぼみ保育園・さわらび保育園・新宮つぼみ保育園の創立年が英文でオシャレに記された50周年記念Tシャツを平成25年度に作り、販売を始めました。黒地に白抜きのシンプルで粋なデザインがとても好評でした。

平成26年度は第二弾として、同じデザインの色違い（ロイヤルブルー・水色・ピンク）に子どもサイズも加わり、売れ行きも順調なようです。

職員も保護者の方も、そして園児も、事ある毎に着用して一体感を味わっています。

前

後

### ■チャリティゴルフコンペの開催

平成25年9月28日に西戸崎シーサイドカントリークラブに於いて「50周年記念チャリティゴルフコンペ」を開催しました。

晴天に恵まれ、56名の参加者の皆さんは、青空の下で気持ちよくプレイを楽しまれた後、関連企業のご協力による豪華賞品を持ち帰られました。

今年度も「第2回チャリティゴルフコンペ」を10月4日に予定しており、只今参加者募集中です。

### ■運動会 友愛セール 清掃活動で…

平成25年度の運動会ではジュース、友愛セールではポップコーンやパンを販売し、その売り上げを記念事業の資金として頂戴しました。また、ボランティア清掃活動では現役保護者の方と一緒に汗を流してくださいました。委員の皆様の積極的なご協力に、感謝の気持ちでいっぱいです。

### ■千早西校区夏祭りに出店

平成26年7月19日に開催された千早西校区夏祭りに、つぼみ保育園も50周年実行委員の方を中心に初めて参加し、テントの一角で友愛セールの名物の一つである「ババロア」と記念Tシャツを販売しました。

職員もたくさん駆けつけ、卒園生や保護者の方々との再会に会話が弾み、二百個準備したババロアも完売し、50周年記念事業を強力にPRできた夜でした。

### ■告知カードの配布

千早西小学校・千早小学校・名島小学校の運動会と千早西校区夏祭りで、卒園生と保護者の方に下のカードを配りました。

実行委員の方がフェイスブックを立ち上げられましたので、「つぼみ保育園50周年」で検索してみてください。

## トピックス

### ●遊戯室　舞台の後ろ幕を新調しました

平成25年度の卒園記念品として、遊戯室の舞台の後ろ幕（ステージの背景となる幕）を水色とピンクの2枚戴きました。舞台が明るくなったように感じます。

### ●スイカを収穫しました

屋上の野菜畑で、今年度はスイカの栽培に初めて挑戦しました。最初の一玉は大きくなる前にカラスに食べられてしまい、悔しく残念でしたので、カラスよけを強化して大切に育てていました。

そして7月末に赤く熟れた甘くて美味しいスイカ第一号を収穫し、園児と職員みんなで食べました。この夏、何個収穫できるか楽しみです。

（主任保育士　小島　千枝）

## 平成25年度 つぼみ保育園決算状況　(単位 円)

### 【資金収支計算書】

| | | |
|---|---|---|
| 事業活動資金収支 | 保育事業収入 | 268,460,760 |
| | 経常経費寄附金収入 | 558,008 |
| | 受取利息配当金収入 | 299,962 |
| | その他の収入 | 6,143,723 |
| | 事業活動収入計(1) | 275,462,453 |
| | 人件費支出 | 175,221,886 |
| | 事業費支出 | 30,757,716 |
| | 事務費支出 | 19,618,054 |
| | 支払利息支出 | 0 |
| | その他の支出 | 3,698,196 |
| | 事業活動支出計(2) | 229,295,852 |
| | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 46,166,601 |
| 施設整備等資金収支 | 施設整備等収入計(4) | 0 |
| | 施設整備等支出計(5) | 136,500 |
| | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | -136,500 |
| その他の活動資金収支 | その他の活動収入計(7) | 0 |
| | その他の活動支出計(8) | 41,950,935 |
| | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | -41,950,935 |
| 当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9) | | 4,079,166 |
| 前期末支払資金残高(11) | | 8,933,210 |
| 当期末支払資金残高(10)+(11) | | 13,012,376 |

### 【貸借対照表】

| | | |
|---|---|---|
| 資産 | 流動資産 | 23,204,825 |
| | 固定資産 | 422,644,249 |
| | 基本財産 | 209,027,921 |
| | その他の固定資産 | 213,616,328 |
| 資産の合計 | | 445,849,074 |
| 負債 | 流動負債 | 10,122,769 |
| | 固定負債 | 3,795,520 |
| | 小　計 | 13,918,289 |
| 純資産 | 基本金 | 43,103,048 |
| | 国庫補助金等特別積立金 | 156,556,836 |
| | その他の積立金 | 154,500,000 |
| | 次期繰越活動収支差額 | 77,770,901 |
| | 小　計 | 431,930,785 |
| 負債及び純資産の合計 | | 445,849,074 |

## 平成26年度 職員構成

(6月1日現在　58名)

理事長　大浦 純平
園　長　大久保 雅子

### つぼみ保育園

主　任　小島 千枝
副主任　猿渡 健一

| | | |
|---|---|---|
| もも組 | 津田 豊子 | 宮川 京子 |
| | 吉田 安祐美 | 諫山 珠里 |
| | 林　郁子 | 田中 孝子 |
| | 清水 淳子 | 野口 希世 |
| | 川口 ますみ | 小山 せり香 |
| | 内田 宏恵 | |
| うめ組 | 吉崎 仁美 | 大浦 佳子 |
| | 吉田 香織 | 浜辺 優菜 |
| | 藤井 由美子 | 越治 和代 |
| | 大里 睦美 | 時津 俊枝 |
| さくら組 | 西村 美香 | 内田 久子 |
| | 小田 晃子 | 大野 歩 |
| | 眞次 祐弥 | 小西 真弓 |
| | 松崎 征子 | |
| すみれ組 | 松本 達則 | |
| れんげ組 | 小田 彩佳 | |
| つくし組 | 高崎 謙 | |
| わらび組 | 姫野 恵 | |
| なずな組 | 幾度 良恵 | |
| 年長フリー | 猿渡 健一 | 浦川 華奈美 |
| | 副島 綺羅星 | |
| 栄養士 | 岩崎 真樹 | 福島 千春 |
| 調理員 | 河津 和美 | 岡崎 千代 |
| | 肥田 悦子 | 安部 順子 |
| 事務主任 | 大浦 理絵 | |
| 用務員 | 中島 涼子 | |
| 延長専任保育士助手 | | |
| | 緒方 彰美 | 伊佐 裕美子 |

### 第2つぼみ保育園(分園)

分園長　田村 明子

| | | |
|---|---|---|
| 保育士 | 中北 由里 | 上野 あすか |
| | 櫻井 智穂 | 岡崎 久美子 |
| | 野田 美和子 | 光安 佑佳 |
| | 阿部 俊子 | 野中 智子 |
| 管理栄養士 | 城戸 奈緒 | |
| 延長専任保育士助手 | 永島 遥 | |

## 平成26年度 父母の会役員

| | | |
|---|---|---|
| 会長 | 喜多 正貴 | (もも) |
| 副会長 | 田川 健司 | (つくし) |
| 々 | 長田 裕子 | (れんげ) |
| 会計 | 庄崎 万梨恵 | (うめ) |
| 々 | 金子 真実 | (れんげ) |
| 書記 | 大野 淳子 | (なずな) |
| 々 | 堀　香 | (れんげ) |
| 委員 | 山内 圭 | (うめ) |
| 々 | 中河原 健介 | (うめ) |
| 々 | 篠原 弘 | (さくら) |
| 々 | 後藤 法子 | (さくら) |
| 々 | 筧　哲弘 | (すみれ) |
| 々 | 廣重 円香 | (すみれ) |
| 々 | 矢野 智子 | (すみれ) |
| 々 | 浅見 宏亮 | (れんげ) |
| 々 | 金子 耕一朗 | (れんげ) |
| 々 | 石井 千絵 | (れんげ) |
| 々 | 宮崎 環 | (つくし) |
| 々 | 小南 出 | (つくし) |
| 々 | 太郎丸 仁 | (わらび) |
| 々 | 前田 康行 | (わらび) |
| 々 | 稲留 あすか | (わらび) |
| 々 | 前田 みき | (なずな) |
| 々 | 酒井 志保 | (なずな) |
| 監査 | 梅木 孝 | (わらび) |
| 々 | 大神 希 | (すみれ) |

## 寄せられた意見・要望（社会福祉法の公表義務付けに準拠）

| 受付年月 | 申出者 | 受付内容 | 解決結果 |
|---|---|---|---|
| 平成25年5月8日 | 近隣女性 | 夕方、保護者駐車場が満車になり、路上で駐車待ちの列を作っていることに対しては理解できるが、待っている時のマナーが悪いので注意してほしい。（住居の出入口を塞がない、窓を開けて大音量で音楽をかけない、携帯電話で大きい声でお喋りしない等） | 謝罪をし、保護者に注意することを約束する。保護者には父母の会総会の折に詳しく内容を伝え、注意を促した。 |
| 平成25年11月27日 | 近隣男性 | 子どもの和太鼓の練習をしている時、音がうるさくて我慢ができない。現在体調があまりよくなく通院しているなどで落ち着けない。これまでに何度となく伝えているが改善されないので第三者機関の意見を聞きたい。 | 太鼓の練習は布をかけてするなど工夫することを伝えたが、納得されないままで話は終わった。それまではある程度ご理解いただいていたが、体調が悪いことも申し出の一因と思われる。太鼓の練習を遊戯室からすみれ組の保育室にかえたり、太鼓に布をかけて練習するようにした。 |